

# 校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成31年2月1日 No.35

## 学校評議委員会（兼 学校関係者評価委員会）の記録

ホームページ版は一部内容を変更しております。

校報「にはやし」No.34でアンケート結果を配付しましたが、今回はそれを基に会議で話し合った内容について紹介いたします。（参観授業の様子はNo.33で紹介しております）

- |        |  |            |
|--------|--|------------|
| 1 開催日時 | 平成31年1月29日（火）  | 13時50分～16時 |
| 2 会場   | 能代市立朴瀬小学校 校長室  |            |
| 3 出席者  | (1) 学校評議員 ○○ ○○（朴瀬地区） ○○ ○○（産物地区）<br>(2) 学 校 校長・教頭   |            |
| 4 内 容  | (1) 授業参観 13時50分～14時10分<br>(2) 学校評議員会 14時20分～16時<br>①校長あいさつ<br>②説明 「2学期の学校評価」と「あきた型学校評価」について<br>③質疑・応答<br>④協議 |            |

※ 当日ご都合かつかずご欠席であったPTA役員の方には学校評価について、1月31日（木）の18時30分からの役員会の際に説明いたしました。

## 5 学校評議員会（兼学校関係者評価委員会）の状況

### (1) 校長の説明から

- ① 2学期の保護者の教育活動に関するアンケートから
  - ・1学期同様に、全保護者から回答をいただき、回答率100%であった。
  - ・「1 朴瀬小学校の教育活動」についての回答は、すべての項目で「よく思う」「思う」の肯定的な回答であった。1学期同様、肯定的な見方をいただき感謝している。
  - ・しかし、1学期と比較してみると、「よく思う」の率が減った項目があった。「1 授業づくり」、「2 学力の定着」、「6 豊かな心の育成」に関して「よく思う」の回答が減っていたので、職員間でこれまでの状況を確認し、3学期に子どもたちの変容につながっていくように指導しているところである。
  - ・「2 自分のお子さんについて」では、肯定的な得点があがっていた。特に「1 学校が楽しい」という回答があがっていたのがよかった。
  - ・「8 言葉遣い」に関しては、よくないと思う保護者の方の割合が多くなった。3学期、学校でも重点的に指導している。
- ② 2学期の児童対象アンケートについて
  - ・児童アンケートでは12項目のうち3項目で1学期よりも評価が高くなっていた。しかし、7項目で低くなっていた。子どもたち自身、自分たちの生活に対して厳しい評価をしていた。一人一人の子どもには大きく伸びているところも多くあるので、それを自信に変え、次の学年に向けて頑張ることができるよう、現在指導にしている。
  - ・保護者同様に「人に対しての言葉遣い」について、子どもたちも低い評価をしていた。このことを受けて、子どもたちが人に厳しい言葉を発しないように学校生活を送ることができるよう、現在いろいろな面で対応を行っているところである。

### ③ あきた型評価について

- ・学習指導について  
4, 5, 6年生は秋田県学習状況調査で, 1, 2, 3年生はCRTで県の平均よりも上を行くことを目指して取り組んできた。大きく上回った学年, 問題もあったが, 目標達成しなかった教科や問題等もある。そのために, 評価をBとした。
- ・生徒指導について  
小規模校で生活しているため, 多くの同年齢の子どもと関わる経験が乏しいので, 多くの人とのふれあいの中で, 物怖じせずに関わり, 自らの力を発揮できるように取り組んできた。農業体験活動やネギ販売等で力を発揮し, 他校との交流も行ってきた。大規模小学校との交流で, もっと積極的な関わりができるようになってほしいと考えたので, 評価をBとした。
- ・健康管理について  
年度当初, 鼻血や怪我での来室が多かった。応急処置の仕方を指導し, できるようになった。その結果, 自らの健康に対する関心も高まったので, 評価をAとした。

### (2) 意見交換

- ・言葉遣いの中で, 放課後, 子どもたちが友達同士で言葉の行き違いから, つい強い言葉になって話している場面を見たことがあった。その日, 学級生活の中で積み重なってきて, 放課後, 自分の気持ちを話す場面で強い言葉になるのだろうと感じた。その際に, 黙って子どもの言葉を聞いてあげると, 落ち着いて, 最後には何事もなかったように帰って行っていった。そうした素直さがある。
- ・学級担任以外の先生や放課後子ども教室の先生や地域の方等, 朴瀬小学校ではたくさん子どもたちの話を聞いてくれる人がいる。
- ・この学校では, 子ども同士が学年関わらず, 話を聞いてくれたり, 何かあっても大きな問題にならないように接してくれたりしているようだ。そうした関係ができているのでよいと思う。各学年の子どもたち一人一人の様子を, 4月から振り返ると, 体も心も大いに成長していると思う。
- ・学校で言葉遣いに対して取り組んでくれるようなので, 子どもたちの成長につながると思う。先生方の示した方法で取り組んでほしい。

### (3) あきた型評価についての意見

- ・学習指導について  
学校から出された資料から, 子どもたちの伸びている様子が分かった。一人一人の子どもの成長も理解できたので, 今後学校が設定している目標に到達するように頑張ってもらいたい。学校が提示している通り, 評価はBである。
- ・生徒指導について  
昨年度より一歩進んだ農園体験活動, ネギ販売体験活動により子どもたちが自信を付けている。学校間交流も順調に進んでいて, 次年度に取り組むことも明らかになっている。子どもたちがよく育っているのだから, 評価はAがよいと考える。
- ・健康管理について  
子どもたちが自ら鼻血や怪我の処置をできるようになり, 健康に関心をもつようになったことが分かったのだから, 評価はAがよいと考える。

## 6 成果・課題等の所感

- ・授業参観後の感想では, 子どもたち一人一人の様子や先生方の指導についてお褒めの言葉をいただいた。少人数の学級でもきちんと話し合い活動をしてきたこと, 教師の問いかけに真剣に考えていたこと等を見ていただき, 子どもたちの成長についても話してくださった。大変嬉しく思った。
- ・あきた型の評価についても話し合う中で, 今年度の成果と次年度へ向けての課題が明らかになり, これからの方向性が見えてきた。生徒指導の評価では, 子どもたちの日頃の頑張り, 成長を見取り, 評価をAとしてくださったのが有り難かった。このことを励みにさらに一歩前に進む実践に取り組みたいと思った。
- ・次年度, 朴瀬小学校, 閉校に向けての一年間になることを確認し合い, 地域・保護者と共に進む体制にご協力いただけることが大変嬉しく思った。閉校記念誌や最後の年の学校行事等で, 地域・保護者の方々の願いを大いに生かすように運営を進めていきたいと感じた。